

女性の精神保健学

単位数：1 単位

- 橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
- 稲垣 正俊：精神医学講座教授
- 稲垣 卓司：教育学部教授
- 和氣 玲：精神医学講座兼任
人間科学学部准教授
- 林田麻衣子：精神医学講座 講師
- 永井 真寿美：臨床看護学講座助教

1. 科目の教育方針

周産期メンタルヘルスケアの重要性について学修し、妊産婦および子育て期にある母親の心のケア、母親としてのアイデンティティ形成、愛着形成への支援をするための基礎知識及び技術について学修する。

女性の各ライフステージ、特に思春期のメンタルヘルスに影響する疾患について基礎知識を学ぶ。

2. 教育目標

- 1) 妊産婦にみられるメンタルヘルスの不調や精神疾患の特徴、診断、治療、スクリーニングなど基礎知識について理解する。
- 2) 妊産婦メンタルヘルスケアの基本的な対応法(コミュニケーション法、面接技法)、について理解する。
- 3) 周産期メンタルヘルスケアにおける多領域協働チームの活動の実際について学修し、チーム活動における助産師の役割について考える。
- 4) 女性の各ライフステージ特に思春期のメンタルヘルスについての基礎的知識を理解する。
- 5) 親のメンタルヘルスと子どもの発達に関連について学修し、女性のメンタルヘルスケアの重要性について理解する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義は主に対面講義で進め、Webex、Teamsによるライブ配信、オンデマンドを併用する。基本的な対応法を修得するための演習は対面で行う。

【評価】

試験、討論への参加状況、レポート内容にて総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

【使用テキスト】

- 1) 我部山キヨ子編：助産学講座 3 基礎助産学[3] 母子の健康科学, 第5版, 2016,

医学書院

2) 堀内成子編：助産学講座 5 助産診断・技術学 I , 第 6 版, 2021, 医学書院

【参考文献】

適時、提示する。

5. 教育内容

回	日時	内 容	講師
1	9/13 13:00~	周産期メンタルヘルスの社会的背景とメンタルヘルスケアの重要性 メンタルヘルスケアで助産師に求められる役割	橋本
2	9/17 10:25 ~	妊産婦のメンタルヘルスの基礎知識： 妊産婦の心理、精神疾患についての基礎知識と治療	和氣
3	9/14 10:25~	妊産婦メンタルヘルスケアの実際： 基本的な対応（心理療法、精神療法、心理相談、カウンセリングなど）、妊産婦の精神科治療導入のタイミング、緊急性の把握方法	稲垣 卓司
4	10/7 10:25 ~	親のメンタルヘルスと子どもの発達に関連、虐待 妊産婦メンタルヘルスケアにおける多領域協働チームの活の 実際と課題	林田
5	10/5 10:25~	女性の各ライフサイクルにおけるメンタルヘルス	稲垣正俊
6	10 月中 旬	面接技法（1） コミュニケーション、カウンセリング、コーチング（演習）	橋本
7	10 月中 旬	面接技法（2） コミュニケーション、カウンセリング、コーチング（演習）	橋本
8	10/19 10:25~	精神障害をもつ女性の妊娠・出産・育児への看護支援	永井・橋本

順不同